

取組状況			取組状況の評価						
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)		評価基準の適用	評価基準の段階	評価	
				評価基準の適用	評価基準の段階			評点	最高点
I 建築物の熱負荷の低減		外壁・屋根の断熱窓部の熱負荷の低減【01】	①外壁及び屋根の断熱に係る事項 外壁(該当するものを選択)〈001〉 ▼▼選択してください▼▼	(1)外壁の断熱の仕様 断熱材《001》 厚さ【mm】《002》 熱抵抗値【㎡・K/W】《003》	(4)床(その他の部分)の断熱の仕様 断熱材《004》 厚さ【mm】《005》 熱抵抗値【㎡・K/W】《006》	<p>※記入に当たっての注意事項※</p> <p>評価基準を適用する項目はその取組状況を、原則、すべて記載する必要があります。各記載欄は、次の要領で記載してください。</p> <p>プルダウン (▼▼選択してください▼▼) 該当する取組を選択してください。該当する取組がない場合には「特になし」を選択してください。</p> <p>チェックボックス (□) 該当する取組を選択してください。</p> <p>▲の欄 該当する箇所が無い場合には「該当なし」と記載してください。</p> <p>●の欄 配慮の取組が無い場合には「特になし」と記載してください。</p> <p>◎の欄 計算している場合に記載してください。</p> <p>任意評価(記載)項目 評価や記載の有無を任意に選択することができる項目です。「評価を行わない」「取組を記載しない」場合は記載不要です。</p>	<p>適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 1</p>	<p>0 1</p>	
			▼▼選択してください▼▼	断熱材《001》	断熱材《004》				
▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《002》	厚さ【mm】《005》							
▼▼選択してください▼▼	熱抵抗値【㎡・K/W】《003》	熱抵抗値【㎡・K/W】《006》							
▼▼選択してください▼▼	断熱材《007》	断熱材《010》							
▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《008》	厚さ【mm】《011》							
▼▼選択してください▼▼	熱抵抗値【㎡・K/W】《009》	熱抵抗値【㎡・K/W】《012》							
▼▼選択してください▼▼	断熱材《013》	断熱材《016》							
▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《014》	厚さ【mm】《017》							
▼▼選択してください▼▼	熱抵抗値【㎡・K/W】《015》	熱抵抗値【㎡・K/W】《018》							
エネルギーの使用の合理化		再生可能エネルギーの直接利用【02】	②窓部の日射遮へい及び断熱に係る事項(該当するものを選択)〈003〉 <input type="checkbox"/> 庇 <input type="checkbox"/> ルーバー <input type="checkbox"/> その他	(3)床(外気に接する部分)の断熱の仕様 断熱材《013》 厚さ【mm】《014》 熱抵抗値【㎡・K/W】《015》	(6)土間床等の外周部(その部分)の断熱の仕様 断熱材《016》 厚さ【mm】《017》 熱抵抗値【㎡・K/W】《018》	<p>▲の欄 該当する箇所が無い場合には「該当なし」と記載してください。</p> <p>●の欄 配慮の取組が無い場合には「特になし」と記載してください。</p> <p>◎の欄 計算している場合に記載してください。</p> <p>任意評価(記載)項目 評価や記載の有無を任意に選択することができる項目です。「評価を行わない」「取組を記載しない」場合は記載不要です。</p>	<p>適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 1</p>	<p>0 1</p>	
			▼▼選択してください▼▼	断熱材《013》	断熱材《016》				
			▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《014》	厚さ【mm】《017》				
			▼▼選択してください▼▼	熱抵抗値【㎡・K/W】《015》	熱抵抗値【㎡・K/W】《018》				
			▼▼選択してください▼▼	建具形態(1)《019》	建具形態(2)《023》				
			▼▼選択してください▼▼	材質(1)《020》	材質(2)《024》				
			▼▼選択してください▼▼	構造(1)《021》	構造(2)《025》				
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
			▼▼選択してください▼▼	断熱材《019》	断熱材《023》				
			▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《020》	厚さ【mm】《024》				
エネルギーの使用の合理化		再生可能エネルギーの直接利用【02】	③その他の事項(該当するものを選択)〈004〉 ▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》	<p>▲の欄 該当する箇所が無い場合には「該当なし」と記載してください。</p> <p>●の欄 配慮の取組が無い場合には「特になし」と記載してください。</p> <p>◎の欄 計算している場合に記載してください。</p> <p>任意評価(記載)項目 評価や記載の有無を任意に選択することができる項目です。「評価を行わない」「取組を記載しない」場合は記載不要です。</p>	<p>適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 1</p>	<p>0 1</p>	
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
			▼▼選択してください▼▼	断熱材《019》	断熱材《023》				
			▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《020》	厚さ【mm】《024》				
			▼▼選択してください▼▼	構造(1)《021》	構造(2)《025》				
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
			▼▼選択してください▼▼	断熱材《019》	断熱材《023》				
			▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《020》	厚さ【mm】《024》				
			▼▼選択してください▼▼	構造(1)《021》	構造(2)《025》				
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
エネルギーの使用の合理化		再生可能エネルギーの直接利用【02】	①太陽エネルギーを利用したシステムに係る事項(例窓の配置計画、窓面積比)(該当するものを選択)〈005〉 <input type="checkbox"/> ボイドスペース <input type="checkbox"/> トップライト <input type="checkbox"/> ハイサイドライト <input type="checkbox"/> その他	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》	<p>▲の欄 該当する箇所が無い場合には「該当なし」と記載してください。</p> <p>●の欄 配慮の取組が無い場合には「特になし」と記載してください。</p> <p>◎の欄 計算している場合に記載してください。</p> <p>任意評価(記載)項目 評価や記載の有無を任意に選択することができる項目です。「評価を行わない」「取組を記載しない」場合は記載不要です。</p>	<p>適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 1</p>	<p>0 1</p>	
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
			▼▼選択してください▼▼	断熱材《019》	断熱材《023》				
			▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《020》	厚さ【mm】《024》				
			▼▼選択してください▼▼	構造(1)《021》	構造(2)《025》				
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
			▼▼選択してください▼▼	断熱材《019》	断熱材《023》				
			▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《020》	厚さ【mm】《024》				
			▼▼選択してください▼▼	構造(1)《021》	構造(2)《025》				
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
エネルギーの使用の合理化		再生可能エネルギーの直接利用【02】	②風を利用したシステムに係る事項(例2方向以上への開口)〈006〉	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》	<p>▲の欄 該当する箇所が無い場合には「該当なし」と記載してください。</p> <p>●の欄 配慮の取組が無い場合には「特になし」と記載してください。</p> <p>◎の欄 計算している場合に記載してください。</p> <p>任意評価(記載)項目 評価や記載の有無を任意に選択することができる項目です。「評価を行わない」「取組を記載しない」場合は記載不要です。</p>	<p>適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 1</p>	<p>0 1</p>	
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
			▼▼選択してください▼▼	断熱材《019》	断熱材《023》				
			▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《020》	厚さ【mm】《024》				
			▼▼選択してください▼▼	構造(1)《021》	構造(2)《025》				
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
			▼▼選択してください▼▼	断熱材《019》	断熱材《023》				
			▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《020》	厚さ【mm】《024》				
			▼▼選択してください▼▼	構造(1)《021》	構造(2)《025》				
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
エネルギーの使用の合理化		再生可能エネルギーの直接利用【02】	③その他の事項(例パッシブソーラーシステム、地中熱を利用したシステム)〈007〉	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》	<p>▲の欄 該当する箇所が無い場合には「該当なし」と記載してください。</p> <p>●の欄 配慮の取組が無い場合には「特になし」と記載してください。</p> <p>◎の欄 計算している場合に記載してください。</p> <p>任意評価(記載)項目 評価や記載の有無を任意に選択することができる項目です。「評価を行わない」「取組を記載しない」場合は記載不要です。</p>	<p>適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 1</p>	<p>0 1</p>	
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
			▼▼選択してください▼▼	断熱材《019》	断熱材《023》				
			▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《020》	厚さ【mm】《024》				
			▼▼選択してください▼▼	構造(1)《021》	構造(2)《025》				
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				
			▼▼選択してください▼▼	断熱材《019》	断熱材《023》				
			▼▼選択してください▼▼	厚さ【mm】《020》	厚さ【mm】《024》				
			▼▼選択してください▼▼	構造(1)《021》	構造(2)《025》				
			▼▼選択してください▼▼	ガラスの種類(1)《022》	ガラスの種類(2)《026》				

取組状況					取組状況の評価				
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)	評価基準の適用	評価基準の段階	評価		
							評点	最高点	
II	再生可能エネルギーの利用	再生可能エネルギーの変換利用【03】	①太陽光発電設備に係る事項 太陽光発電システムの利用の有無<008> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	太陽光発電による容量【kW】<040>	<p>※記入に当たっての注意事項※</p> <p>評価基準を適用する項目はその取組状況を、原則、すべて記載する必要があります。</p> <p>各記載欄は、次の要領で記載してください。</p> <p>プルダウン (▼▼選択してください▼▼) 該当する取組を選択してください。該当する取組がない場合には「特になし」を選択してください。</p> <p>チェックボックス (□) 該当する取組を選択してください。</p> <p>▲の欄 該当する箇所が無い場合には「該当なし」と記載してください。</p> <p>●の欄 配慮の取組が無い場合には「特になし」と記載してください。</p> <p>◎の欄 計算している場合に記載してください。</p> <p>任意評価(記載)項目 評価や記載の有無を任意に選択することができる項目です。「評価を行わない」「取組を記載しない」場合は記載不要です。</p>				
			有りの場合利用形態(該当するものを選択)<009>	設置面積【㎡】<041>					
			<input type="checkbox"/> 低圧連系 <input type="checkbox"/> 高圧連系 <input type="checkbox"/> 特高連系 <input type="checkbox"/> その他						
			②太陽熱を利用したシステムに係る事項 太陽熱を利用したシステムの利用の有無<010> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	太陽熱利用による容量【kW】<044>					
			有りの場合利用形態<011>	設置面積【㎡】<045>					
			③地中熱を利用したシステムに係る事項 地中熱を利用したシステムの利用の有無<012> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	地中熱利用による容量【kW】<046>					
		有りの場合利用形態<013>							
		④バイオマス熱源とする熱を利用したシステムに係る事項 バイオマス熱源とする熱を利用したシステムの利用の有無<014> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	(1)バイオマス熱源とする熱を利用した発電による容量【kW】<047>						
		有りの場合利用形態<015>	(2)バイオマス熱源とする熱の利用による容量【kW】<048>						
		⑤その他の事項<016>	その他の再生可能エネルギー利用の仕様及び容量等<049>						
		●							
		⑥年間再生可能エネルギー利用量【MJ/年】<017>	◎						
		III	省エネルギーシステム	設備システムの省エネルギー【04】		①給湯システムの仕様 給湯システムの利用の有無<018> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	(1)給湯システムの点数【点】<050>		
						有りの場合機器仕様(該当するものを選択)<019>	<019>参考表示; ▼▼選択してください▼▼		
						▼▼選択してください▼▼			
						②床暖房システムの仕様 床暖房システムの利用の有無<020> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	(2)床暖房システムの点数【点】<051>		
						有りの場合機器仕様(該当するものを選択)<021>	<021>参考表示; ▼▼選択してください▼▼		
▼▼選択してください▼▼									
③空調システム(ビルトイン空調機)の仕様 空調システム(ビルトイン空調機)の利用の有無<022> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	(3)空調システム(ビルトイン空調機)の点数【点】<052>								
有りの場合機器仕様(該当するものを選択)<023>	<023>参考表示; ▼▼選択してください▼▼								
▼▼選択してください▼▼									
④暖房機能付き給湯システムの仕様 暖房機能付き給湯システムの利用の有無<024> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	(4)暖房機能付き給湯システムの点数【点】<053>								
有りの場合機器仕様(該当するものを選択)<025>	<025>参考表示; ▼▼選択してください▼▼								
▼▼選択してください▼▼									
合計点【点】<026>	0								
IV	任意	再生骨材等利用【05】	①再生骨材等を利用したコンクリート等の使用の有無<027> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 1					
			②①の種類(該当するものを選択)<028>						
			<input type="checkbox"/> 再生骨材 <input type="checkbox"/> その他						
			③①の利用部位(該当するものを選択)<029>						
	<input type="checkbox"/> 捨てコンクリート <input type="checkbox"/> 工作物に用いられる現場打ちコンクリート又はコンクリート製品 <input type="checkbox"/> その他								
	任意	エコマテリアル	混合セメント等利用【06】	①混合セメント等の利用の有無<030> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 1				
				②①の種別(該当するものを選択)<031>					
				<input type="checkbox"/> 高炉B種 <input type="checkbox"/> 高炉C種 <input type="checkbox"/> フライアッシュB種 <input type="checkbox"/> フライアッシュC種 <input type="checkbox"/> その他					
③①の利用部位<032>									
任意	エコマテリアル	リサイクル鋼材利用【07】	①リサイクル鋼材の利用の有無 ※鉄筋を除く<033> <input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 1					
			②①の構造用材料への利用の程度(該当するものを選択)<034>						
			<input type="radio"/> 特定の部位に使用 <input type="radio"/> 大半の部位に使用						
			③①の利用部位<035>						
		▼▼選択してください▼▼							

取組状況				取組状況の評価					
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)	評価基準の適用	評価基準の段階	評価		
							評点	最高点	
資源の適正利用	V オゾン層の保護及び地球温暖化の防止	断熱材用発泡剤【09】	①主として使用する断熱材の種類<036>					<p>※記入に当たっての注意事項※</p> <p>評価基準を適用する項目はその取組状況を、原則、すべて記載する必要があります。</p> <p>各記載欄は、次の要領で記載してください。</p> <p>プルダウン (▼▼選択してください▼▼) 該当する取組を選択してください。該当する取組がない場合には「特になし」を選択してください。</p> <p>チェックボックス (□) 該当する取組を選択してください。</p> <p>▲の欄 該当する箇所が無い場合には「該当なし」と記載してください。</p> <p>●の欄 配慮の取組が無い場合には「特になし」と記載してください。</p> <p>◎の欄 計算している場合に記載してください。</p> <p>任意評価(記載)項目 評価や記載の有無を任意に選択することができる項目です。「評価を行わない」「取組を記載しない」場合は記載不要です。</p>	
			②①の利用部位(該当するものを選択)<037>	<input type="checkbox"/> 外壁 <input type="checkbox"/> 屋根 <input type="checkbox"/> その他					
			③①のうち、発泡剤を利用している断熱材の有無<038>	<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	オゾン層破壊係数<054>	地球温暖化係数<055>			
	④発泡剤の種類(該当するものを選択)<039>	▼▼選択してください▼▼							
	任意	空気調和設備用冷媒【10】	▼▼選択してください▼▼						
	VI 長寿命化等	維持管理、更新、改修、用途の変更等の自由度の確保【11】	①維持管理の容易性に係る事項 専用配管の維持管理に係る事項(例躯体への影響に対する配慮)(該当するものを選択)<040>	▼▼選択してください▼▼					
			専有部分の排水管の維持管理に係る事項(例 清掃口又は点検口の設置)<041>	●					
			共用配管の維持管理に係る事項(例躯体への影響及び作業の容易性の確保に対する配慮)(該当するものを選択)<042>	▼▼選択してください▼▼					
		②更新、改修、用途の変更等への対応に係る事項<043>	●						
		階高【m】<044>	梁下の高さ【m】<045>	壁及び柱の位置<046>					
躯体の劣化対策【12】		①水セメント比に係る事項<047>	%以下						
	②劣化対策に係る事項(該当するものを選択)<048>	▼▼選択してください▼▼							
	③躯体の保護に係る事項(該当するものを選択)<049>	<input type="checkbox"/> 外装の塗装または吹きつけタイル <input type="checkbox"/> タイル貼りまたはモルタル塗り <input type="checkbox"/> その他	●						
	④鉄骨の鋼材の厚さに係る事項【mm】<050>								
	⑤鉄骨の防錆の措置に係る事項 最下階(地階を除く)の柱脚部の防錆措置に係る事項<051>								
	一般部の防錆措置に係る事項<052>								
⑥鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造以外の構造における躯体の耐久性の向上に係る事項<053>	▲ or ●								
VII 水循環	任意	雑用水利用【13】	①雑用水の利用の有無<054>	<input type="radio"/> 有り <input checked="" type="radio"/> 無し	(個別循環方式、地区循環方式又は雨水利用方式の場合)	適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 1			
			②雑用水の利用方式(該当するものを選択)<055>	<input type="checkbox"/> 個別循環 <input type="checkbox"/> 地区循環 <input type="checkbox"/> 広域循環 <input type="checkbox"/> 工業用水利用 <input type="checkbox"/> 雨水利用	(1)処理方式(該当するものを選択)<056>	<input type="checkbox"/> 沈砂 <input type="checkbox"/> 生物処理 <input type="checkbox"/> 膜処理 <input type="checkbox"/> オゾン処理 <input type="checkbox"/> 活性炭処理 <input type="checkbox"/> 砂ろ過 <input type="checkbox"/> その他			
			③広域循環方式による再生水の供給区域の内外<057>	<input type="radio"/> 内 <input checked="" type="radio"/> 外	供給エリア名<057>	(2)計画水量【m3/日】<057>			
			④原水種別(個別循環方式、地区循環方式又は雨水利用方式の場合)(該当するものを選択)<058>	<input type="checkbox"/> 洗面所及び給湯室排水 <input type="checkbox"/> 冷却水 <input type="checkbox"/> 厨房排水 <input type="checkbox"/> プール排水 <input type="checkbox"/> 雨水 <input type="checkbox"/> その他		(雨水利用の場合のみ) (3)貯留槽(沈砂槽含む)容量【m3】<058>	集水面積【㎡】<059>		
			⑤利用先(該当するものを選択)<059>	<input type="checkbox"/> 便所洗浄水 <input type="checkbox"/> 散水用水 <input type="checkbox"/> 修景用水 <input type="checkbox"/> その他					

取組状況					取組状況の評価			
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)	評価基準の適用	評価基準の段階	評価	
							評点	最高点
自然環境の保全	任意	VII 水循環 雨水浸透【14】	①敷地の状況	(1)雨水浸透量【m3】(060)	<p>※記入に当たっての注意事項※</p> <p>評価基準を適用する項目はその取組状況を、原則、すべて記載する必要があります。</p> <p>各記載欄は、次の要領で記載してください。</p> <p>プルダウン (▼▽選択してください▽▼)</p> <p>該当する取組を選択してください。該当する取組がない場合には「特になし」を選択してください。</p> <p>チェックボックス (□)</p> <p>該当する取組を選択してください。</p> <p>▲の欄</p> <p>該当する箇所が無い場合には「該当なし」と記載してください。</p> <p>●の欄</p> <p>配慮の取組が無い場合には「特になし」と記載してください。</p> <p>◎の欄</p> <p>計算している場合に記載してください。</p> <p>任意評価(記載)項目</p> <p>評価や記載の有無を任意に選択することができる項目です。「評価を行わない」「取組を記載しない」場合は記載不要です。</p>			
			地形(例平坦、やや傾斜)<060>	(2)雨水浸透の能力【mm/時】(061)				
	地質(例砂れき、粘土)<061>							
	地下水位(例GL-〇m)<062>							
	②雨水浸透の方法(該当するものを選択)<063>							
	<input type="checkbox"/> 雨水浸透ます							
	<input type="checkbox"/> 雨水浸透トレンチ							
	<input type="checkbox"/> 透水性舗装							
	<input type="checkbox"/> 地表面の緑地化							
	<input type="checkbox"/> その他							
VII 緑化	任意	緑の量の確保【15】	①地上部における樹木の植栽等に係る事項(主な樹種等)<064>	(1)地上部の樹木の植栽等のなされた部分の面積【㎡】(A)(062)	●			
			②建築物上における樹木、芝、草花等の植栽に係る事項(主な樹種等)<065>	(2)建築物上の樹木、芝、草花等の植栽のなされた部分の面積【㎡】(B)(063)				
	緑の質の確保【16】	①建築物上における樹木の量の確保に係る事項(主な樹種等)<066>	(1)建築物上の樹木の植栽のなされた部分の面積【㎡】(D)(067)	●	(2)点数【点】(068)	◎	(3)建築物上の樹木の植栽した部分の面積の建築物上積に対する割合【%】(D/F)(069)	
			(4)建築物上の緑化面積【㎡】(E)(070)					
		②高木の植栽に係る事項(主な樹種等)<067>	(1)高木の植栽のなされた部分の緑化面積【㎡】(F)(071)	●	(2)点数【点】(072)	◎	(3)高木の植栽のなされた部分の総緑化面積に対する(F/(A+B))(073)	
			(4)5mを超える高木の植栽の有無(074)					
		③既存の樹木の保全に係る事項(主な樹種等)<068>	(1)既存の樹木の植栽のなされた部分の面積【㎡】(075)	●	(2)点数【点】(076)	◎	(3)幹周り1m以上の大径木の有無(077)	
			(2)点数【点】(076)					
	合計点【点】<069>			0				
	任意	動植物の生息・生育環境への配慮【17】	連続した緑の形成【18】					
樹木・芝・草花等の維持管理への配慮【19】								
ヒートアイランド現象の緩和	IX ヒートアイランド現象の緩和	敷地と建築物の被覆対策【20】	敷地と建築物の被覆に係る事項	(1)緑地による対策評価面積【㎡】(G)(078)	<p>適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 2</p>			
			地上部の被覆材に係る事項(該当するものを選択)<070>	(2)水面による対策評価面積【㎡】(H)(079)				
	<input type="checkbox"/> 緑化(樹木、草本、芝)による対策	(3)保水性被覆材による対策評価面積【㎡】(I)(080)						
	<input type="checkbox"/> 緑化のうち蒸発効率の低い植物による対策	(4)高反射率被覆材による対策評価面積【㎡】(J)(081)						
	<input type="checkbox"/> 水面による対策	(5)絶対対策評価面積【㎡】(G+H+I+J)(082)	0.00					
	<input type="checkbox"/> 保水性被覆材による対策	(6)敷地面積【㎡】(C)(083)						
	<input type="checkbox"/> その他	(7)絶対対策評価面積の敷地面積に対する割合(対策率)【%】((G+H+I+J)/C)(084)						
	建築物上の被覆材に係る事項(該当するものを選択)<071>							
	<input type="checkbox"/> 緑化(樹木、草本、芝)による対策							
	<input type="checkbox"/> 緑化のうち蒸発効率の低い植物による対策							
<input type="checkbox"/> 水面による対策による対策								
<input type="checkbox"/> 保水性被覆材による対策								
<input type="checkbox"/> 高反射率被覆材による対策								
<input type="checkbox"/> その他								
任意	風環境への配慮【21】	望ましい風環境の確保を図るために行う建築物の形状及び配置に係る事項<072>	(1)見付幅【m】(K)(085)	(4)夏の主風向に直交する最大空地幅【m】(M)(088)	<p>適用する ▼ (適合なし) ▼ 0 1</p>			
			(2)夏の主風向に直交する最大敷地幅【m】(L)(086)	(5)最大高さ【m】(N)(089)				
			(3)見付幅比(K/L)(087)	(6)最大空地幅比(M/N)(090)				

- 備考
- 取組状況の欄中「[]」には該当する事項に○印又は必要事項を記載すること。
 - 詳細(容量、仕様、規模等)の欄中◎印の欄には、該当する数値について算出している場合に記載すること。
 - 取組状況の評価の欄中適合状況の欄には、評価基準に適合している場合に、○印を記載するとともに、評点の欄には、細区分ごとの配点の合計を記載すること。また、当該基準の適用がない場合は適合状況の欄に「適用がない」と記載し、別表第3に掲げる細区分について当該基準による評価を行わない場合は「評価を行わない」と記載すること。
 - 最高点の欄中「()」には、当該特定建築物で想定される最高点を記載すること。

取組状況					取組状況の評価			
分野	区分	細区分	概要	詳細(容量、仕様、規模等)	評価基準の適用	評価基準の段階	評価	
							評点	最高点

第2 環境への配慮のための措置の概要

備考 設計上の基本方針、維持管理計画、設計及び維持管理計画上の制約等、特に配慮した事項を記載すること。

第3 棒グラフによる環境配慮の措置の評価

I 建築物の熱負荷の低減	外壁・屋根の
II 再生可能エネルギーの利用	再生可能エネ 再生可能エネ
III 省エネルギーシステム	設備システム
IV エコマテリアル	再生骨材等系 混合セメント等 リサイクル鋼材
V オゾン層の保護及び地球温暖化の抑制	断熱材用発泡
VI 長寿命化等	維持管理、更 躯体の劣化対
VII 水循環	雑用水利用 雨水浸透
VIII 緑化	緑の量の確保 緑の質の確保
IX ヒートアイランド現象の緩和	敷地と建築物 風環境への貢

備考 「評点」及び「最高点」の部分には、それぞれ、第1の「区」し、当該最高点に対する当該評点の割合に応じて、「グラフ表示」「適用なし」と表示し、0点の場合は棒グラフを表示しないこと。

マンション 環境性能表示 (参考)	評価項目	表示
	建物の断熱性	★
	設備の省エネ性	★
	太陽光発電・太陽熱	
	建物の長寿命化	★
	みどり	★
備考		

本届出で提出した方は、『2014年度基準マンションラベル』を使用してください。

※記入に当たっての注意事項※

評価基準を適用する項目はその取組状況を、**原則、すべて記載する必要があります。**

各記載欄は、次の要領で記載してください。

プルダウン (▼▼選択してください▼▼)

該当する取組を選択してください。該当する取組がない場合には「**特になし**」を選択してください。

チェックボックス (□)

該当する取組を選択してください。

▲の欄

該当する箇所が無い場合には「**該当なし**」と記載してください。

●の欄

配慮の取組が無い場合には「**特になし**」と記載してください。

◎の欄

計算している場合に記載してください。

任意評価(記載)項目

評価や記載の有無を任意に選択することができる項目です。「**評価を行わない**」「**取組を記載しない**」場合は記載不要です。